

平成28年度社会貢献活動推進セミナー

平成28年12月23日（金・祝）ナディアパークデザインホールにて、「平成28年度社会貢献活動推進セミナー」を開催しました。

このセミナーは企業や農協、生協、自治体や商店街、町内会やまちづくりのNPO、社会福祉施設、社協が共同のテーブルにつき実践事例を学ぶとともに、新たな協働の方策等を見出す社会貢献活動について考えることを目的としています。当セミナーは平成22年度から開催しており、7回目となる今年度は、熊本地震の発災を受け、愛知県においても災害時に互いに協力できる関係づくりを目的として、災害支援や防災・減災をテーマに開催いたしました。

開催にあたり、準備委員には、ボランティア連絡協議会、住民参加型在宅福祉サービス団体、市社会福祉協議会の方に委員を務めていただきセミナー運営にご協力頂きました。

参加者には、企業やNPO、ボランティア団体、自治会、住民参加型在宅福祉サービス団体、行政、福祉施設、社協、学生など幅広い分野から108名にご参加いただきました。



【日時】

平成28年12月23日（金・祝）

【場所】

ナディアパーク 3階 デザインホール

【内容】

○基調講演「南海トラフ地震に負けない強靱なまちづくりを目指して」

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会

委員長 鈴木 盈宏 氏

基調講演では、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員長の鈴木氏よりご講演いただきました。災害時における産官学民連携の重要性や災害ボランティアコーディネーターの役割、また、災害ボランティアの心得や今後の課題等についてお話しいただき、熱心にメモをとる参加者の姿も多数見受けられました。

○実践報告

テーマ「東日本大震災・熊本地震等大規模災害支援を振り返って」

(報告者)

①AISIN アイシン精機株式会社総務部 さわやかふれあいセンター

主担当 杉浦 安昌 氏

南田 弘 氏

②認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

③中部大学ボランティア・NPOセンター

学生運営委員長 今井 敬之 氏

④春日井市社会福祉協議会

主査 渡邊 正樹 氏

(コメンテーター)

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会

委員長 鈴木 盈宏 氏

実践報告では、企業、法人、学生、社協より5名の方にお越しいただき、大規模災害の被災地支援についてお話しいただきました。

それぞれのお立場から実際に行われた災害支援について詳細にお話しいただき、被災状況や被災者の方のニーズ等をご説明していただきました。

各分野の持つ強みを活かした支援活動には、大変参考になったとの声が多く寄せられました。

○活動紹介・防災ソング披露

愛知県立海翔高等学校

学校長

川口 宗泰 氏

活動紹介では、愛知県立海翔高等学校校長の川口氏より県内の高校で唯一設置されている環境防災コースについてご紹介頂きました。防災教育を専門としたこちらのコースでは、校内学習のみならず、防災センター見学等の校外学習や、防災出前講座等を通しての地域交流をカリキュラムの一部に加え、防災の知識を蓄えていきます。

また、日進市の小学校教諭の方の協力を得ながら作り上げた防災ソングを、会場内で流していただきました。明るい曲調で防災の啓発を歌った「つなぎたい未来」という曲は、海翔高校の出前講座やイベントで披露されています。

○閉会挨拶

愛知県社会福祉協議会 ボランティアセンター

委員長

鈴木 盈宏 氏

○その他

<災害フーズ試食会>

昼食休憩時間には、トーヨーフーズ株式会社様にお越し頂き、「どこでもスイーツ缶」の試食会を実施いたしました。

被災者の「食べる物はあったが、甘い物が無かった。けれどスイーツを食べたいとは言えなかった。」との声より開発されたチーズケーキ缶詰は、プレーン・ガトーショコラ・西尾抹茶

の3種類の味があり、しっとりとした食感で、どれも参加者の方には大変好評でした。また、参加者の方一人ひとりへのお土産として、「即食食堂 北海道産 大豆パウチパック」をご提供いただきました。商品の詳細につきましては、下部の参照からご覧ください。

《参照》 トーヨーフーズ株式会社 (<http://www.toyofoods.co.jp/index.html>)

<ワークショップ>

昨年度より実施しているワークショップでは、「個々の強みを生かして、日頃から協力体制を築くために何ができるか、具体的取組みを考えよう！」をテーマとし、グループにわかれ、協議をしました。

福祉関係者や企業人、学生等、あらゆる立場の参加者が、それぞれの視点から非常時への備えやできることを考え、意見をかわしました。特に学生の皆さんが中心となって協議をリードする姿が目立ちました。



<チラシ配布コーナー>

チラシ配布コーナーでは、参加者に自身の所属する団体等のパンフレットを持ち寄っていただきました。多くの参加者がパンフレットを手にとられ、興味深くご覧になる場面もありました。セミナーで余ったチラシには、愛知県ボランティアセンターにて配下させて頂いております。

【振り返って】

今年度は例年より短期間での募集にもかかわらず、NHK ラジオ局様始め、関係各位の皆様のご周知のお陰もございまして、多くのお申込がありました。今回は「防災・減災」に関わる社会貢献をテーマとしたためか、特に民間企業様や学生の方の参加が増加したように思います。

また、反省点といたしましては、報告者・発表者の説明におきまして、こちらで時間を十分に設けられず、より詳細に内容を聞きたかったとご意見を頂きました。次回以降のセミナーでは、発表者の人数や時間の調整の検討の必要性を感じました。

【今後の方向性】

今年度は多様な職種、年齢の方にご参加いただいたため、あらゆる視点から災害対応について検討することができました。今後は参加者数のさらなる増加を目指し、産官学民の協力体制を築ききっかけとなるセミナーを企画したいと思います。